

FIGHTING HUNGER  
WORLDWIDE

JAPAN ASSOCIATION FOR THE  
WORLD FOOD PROGRAMME  
ANNUAL REPORT 2016

# 国連WFP協会 年次報告書2016

国連WFP協会 年次報告書2016 [発行] 特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会



# ご寄付への感謝を込めて

2016年(1月~12月)に皆様からお預かりした寄付金によって実現できた支援活動や、日本国内での取り組みについてご報告します。

## ごあいさつ

日頃より国連WFPの活動に貴重なご支援を賜り、誠にありがとうございます。2016年、国連WFP協会にお寄せいただいたご寄付の総額はおよそ11億円となりました。皆様のご協力に心より感謝を申し上げます。2016年は、前年に国連総会で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」が1月に発効し、その目標2「飢餓をゼロに」の達成に向けて国連WFPが本格的な取り組みを開始した1年でした。一方で、シリア、イエメン、イラク、南スーダンなど紛争の影響に苦しむ地域での飢餓の状況が悪化。アフリカ南部はエル・ニーニョ現象の影響による干ばつ等に襲われ、深刻な食糧不足に陥った人々への支援が急務と

なりました。また、国内では熊本地震の発生を受け、被災地にて物流を中心とする支援活動も展開しました。全ての人が十分に食べられる世界を実現するためには、皆様のご理解とご協力が必要です。どうか今後も益々のご支援を何卒よろしくお願い致します。



### ◆ 国連WFP協会とは

特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会(国連WFP協会)は、飢餓と貧困をなくすことを使命にする国連唯一の食糧支援機関であるWFP 国連世界食糧計画の、日本における公式支援窓口です。WFP 国連世界食糧計画の活動はすべて、各国の政府の拠出金や、企業・団体、個人などの寄付金でまかなわれており、国連WFP協会は、民間を対象とした募金活動や、企業・団体との協力関係の推進、広報活動を通し

てWFP 国連世界食糧計画の活動を支援しています。また、日本においては、「国連WFP」という総称を用いて、国連機関であるWFP 国連世界食糧計画と、それを支援する認定 NPO法人である国連WFP協会という2つの団体が協力して活動を行っています。国連WFP協会は、1999年に設立され、2005年より「認定NPO法人」に認定されました。

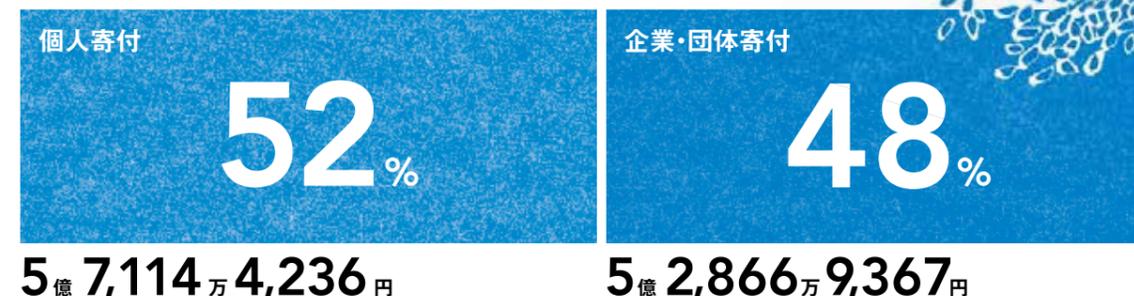
### ◆ 国連WFPは、SDGsの目標2と17の達成を目指しています



「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」は、「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「質の高い教育をみんなに」など、世界を変えるため、2030年までに達成すべき17の目標をまとめたものです。国連WFPは、主に目標2「飢餓をゼロに」と目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の達成を目指しています。

## 2016年 国連WFP協会 寄付金収支概要 ※1

### 【収入】



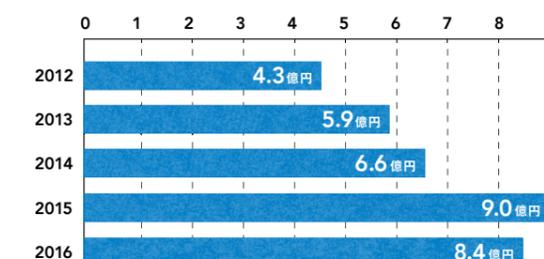
### 【支出】



寄付金総額 **10億 9,981万 3,603円**

※1 このグラフは2016年に国連WFP協会が受け取った寄付金の収入・支出を表しています(会費や事業収入は含みません)。国連WFP協会の総収入・総支出につきましては、13ページに掲載の「2016年度決算報告」をご覧ください。  
 ※2 決算時点での送金見込み金額。国連WFP本部への寄付送金額は、端数を繰り上げて送金した金額です。  
 ※3 国連WFP本部との取り決めにより、寄付(個人寄付および企業・団体寄付)のうち75%以上は途上国での支援活動のため国連WFP本部へ送金しており、残り25%(上限)は国連WFP協会が国内で行う募金活動、広報宣伝活動、管理費等の国内事業費等に活用しています。2016年度の費用詳細につきましては、13ページに掲載の「2016年度決算報告」をご覧ください。

### 国連WFP本部への寄付送金額の推移



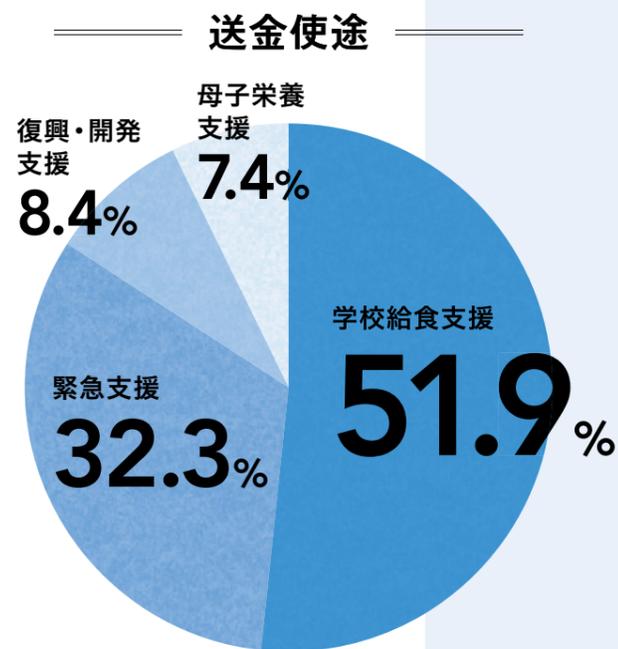
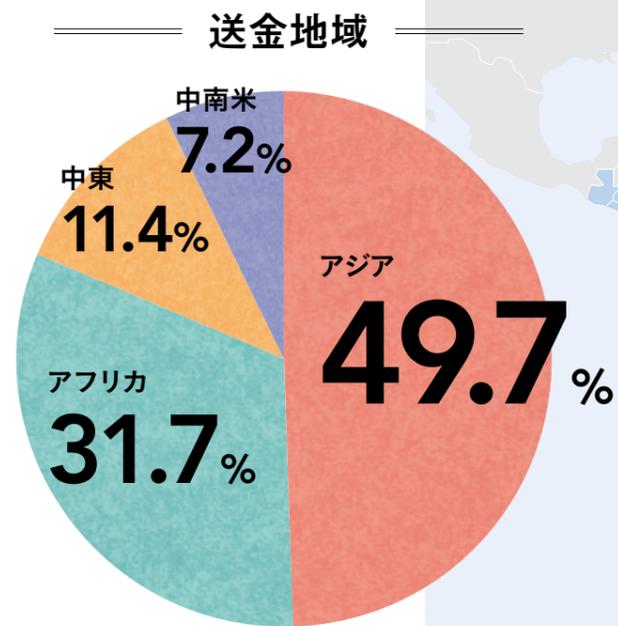
### CONTENTS

- 1 ご寄付への感謝を込めて
- 2 国連WFP協会からの送金実績
- 3 国連WFPの代表的な支援活動
- 4 国連WFP協会の活動ダイジェスト
- 5 2016年度決算報告
- 6 現地で活躍する国連WFPの日本人職員
- 7 企業・団体の取り組み事例
- 8 2016年度決算報告
- 9 企業・団体からのご支援

# 国連WFP協会からの送金実績

2016年、国連WFPは8,220万人を対象に食糧支援を行いました。  
 国連WFP協会を通じた日本の皆様からの寄付送金額はおよそ8.4億円となり、  
 24カ国における国連WFPの活動に大きく貢献しています。

■ 国連WFP協会 寄付送金国  
 ■ その他の国連WFP支援実施国 ※1



▶ 詳細は5・6ページへ

## 中南米

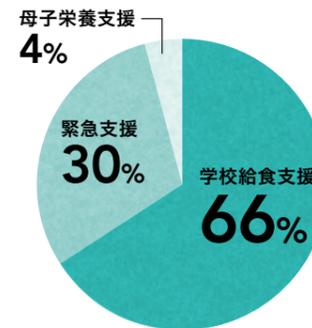
送金用途

緊急支援 100%

緊急支援	
エクアドル	3,000万円
ハイチ	3,000万円

## アフリカ

送金用途



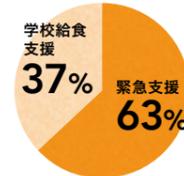
学校給食支援	
ガーナ	3,000万円
シエラレオネ	2,000万円
セネガル	3,000万円
ソマリア	3,500万円
マラウイ	3,000万円
モーリタニア	3,000万円

緊急支援	
スワジランド	2,000万円
中央アフリカ共和国	2,000万円
マダガスカル	2,000万円
南スーダン	2,000万円

母子栄養支援	
スワジランド	1,000万円

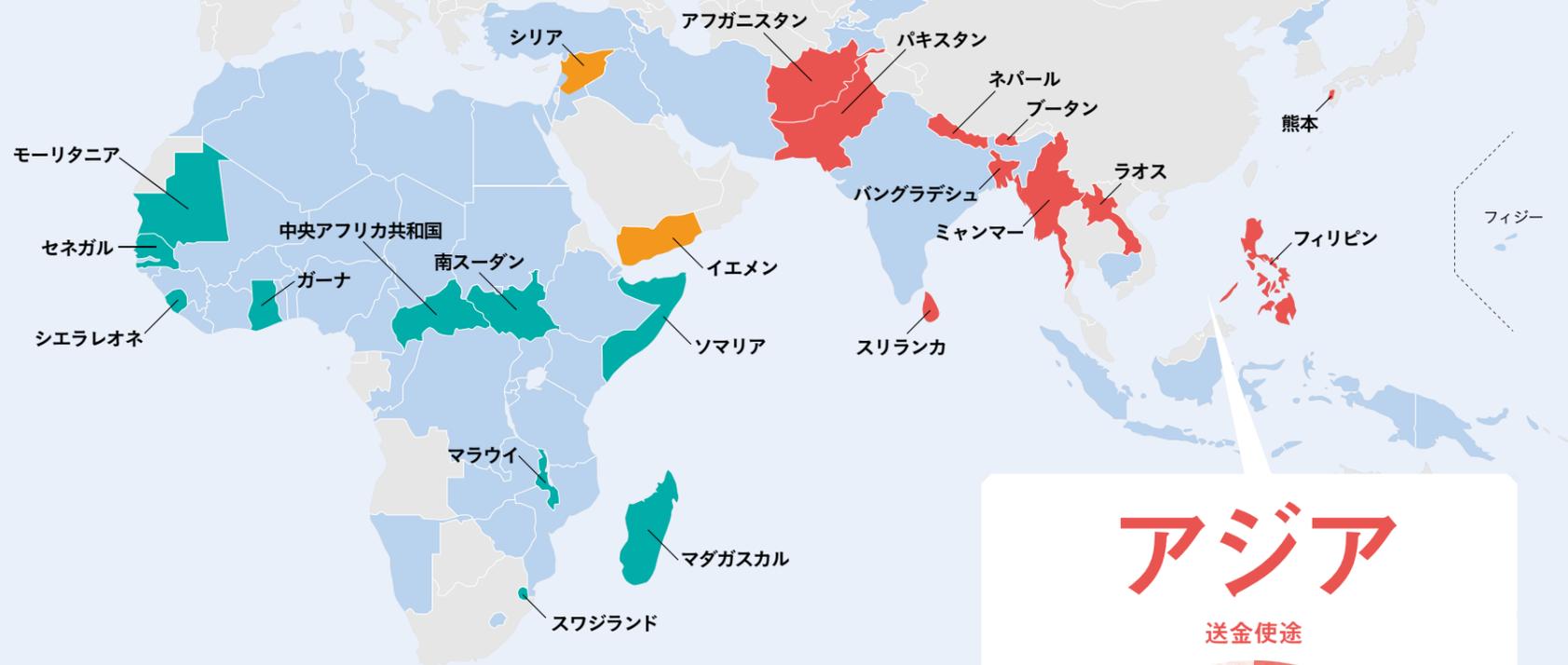
## 中東

送金用途



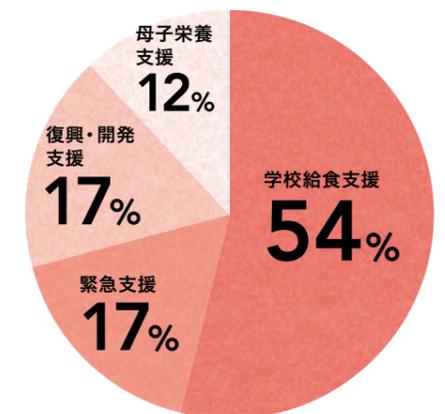
緊急支援	
イエメン	3,000万円
シリア	3,000万円

学校給食支援	
シリア	3,500万円



## アジア

送金用途



緊急支援	
熊本	4,000万円
スリランカ	3,000万円

復興・開発支援	
スリランカ	4,000万円
ネパール	2,000万円
フィリピン	1,000万円

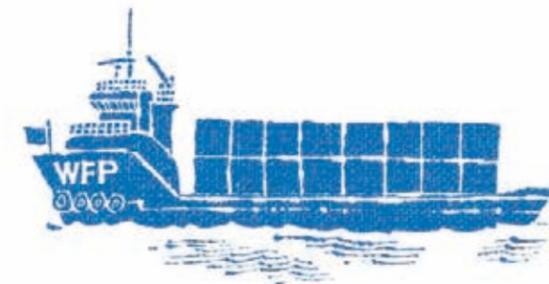
母子栄養支援	
バングラデシュ	3,000万円
フィリピン	2,200万円

学校給食支援	
アフガニスタン	3,000万円
スリランカ	3,000万円
ネパール	3,358万円 ※2
パキスタン	3,000万円
ブータン	1,000万円
ミャンマー	3,000万円
ラオス	6,000万円

※2 33,581,432円

# 国連WFPの代表的な支援活動

支援活動の概要や、2016年の送金先のプロジェクトをご紹介します。



## 学校給食支援

寄付  
送金額

4億3,358万円

★ ソマリア



児童とその家族の飢餓を防ぐ役割も。©WFP/Karel Prinsloo

学校給食支援は、子どもの栄養状態を改善し、貧しい家庭の家計を助け、就学・通学を促します。教育の普及は、国の安定と発展の礎です。

### 「持ち帰り食糧」で女子の就学率の向上も

過去25年に及び、ソマリアでは紛争や政治不安、気候・経済問題によって飢餓や栄養不良が蔓延しています。小学校の就学率も42%と世界で最低水準であり、そのうち女子の占める割合は36%に過ぎません。国連WFPは2016年、ソマリア国内の約490校のおよそ14万人の子どもたちに給食を提供しました。また、一定以上の出席率を満たすと家庭へ食糧を持ち帰れる「持ち帰り食糧」を1万人以上の子どもたちに支給することにより、女子の就学率を向上させることにも努めました。

## 緊急支援

寄付  
送金額

2億7,000万円

イエメン



緊急食糧支援の対象者の半数以上が女性や子ども。©WFP/Abdurahman Hussein

緊急時にまず必要とされるのが食糧。国連WFPは人道支援における「物流のリーダー」として、迅速に食糧などの支援物資を現地に届けています。

### 迅速な食糧支援—「きわめて重要な命綱」に

2015年3月にイエメン全土へ広がった紛争によって、人口の70%にあたる1,880万人が人道支援を必要とする状況に陥りました。国連WFPは2016年、食糧配給や、地元の市場で使用でき経済の活性化にもつながる食糧引換券を用いて、その内の740万人を支援。「紛争で家を追われている私たちにとって、人道支援は重要な命綱です」と話してくれたのは、激しい戦闘で甚大な被害を受けたニフム地区出身のアブドゥラさん、68歳。家族13人と共に近隣地区に避難した後は、国連WFPの食糧支援を受けることで生活ができていると、感謝しています。

## 母子栄養支援

寄付  
送金額

6,200万円

5歳未満の子どもの死因の約45%に栄養不良が関係。国連WFPは飢餓の影響を受けやすい妊産婦と乳幼児への栄養支援を強化しています。

### 栄養不良対策として、主食の米の栄養強化も

バングラデシュは、近年経済発展が目覚ましく、米の生産率も向上し、過去25年で栄養不良人口は半減しました。しかし、現在も2,600万人が栄養不良で、5歳未満の子どもの3分の1以上にあたる550万人が発育阻害に陥っており、身体および知能の発達に悪影響を及ぼしています。国連WFPは、バングラデシュの妊婦や授乳中の女性に栄養指導を行うと共に、一日の摂取カロリー平均70%を米に頼る偏った食生活の栄養改善を図るため、栄養強化米を支給しています。



子どもの栄養状態はあと少しで「正常」に。©WFP/Ranak Martin

バングラデシュ

## 復興・開発支援

寄付  
送金額

7,000万円

紛争・災害後の復興や、貧困が深刻な地域での開発を促す目的で、インフラ整備などを住民参加型で行う、中長期的な支援を行っています。

### 住民参加型の復興支援により、収入源も確保

9,000人の死者が出た2015年4月のネパール大地震後の緊急支援に引き続き、被害の大きかったゴルカ県など3つの地域で復興支援を開始。国連WFPは復興のための物資の管理と流通を担い、60以上のパートナー団体の中で中心的な役割を果たしました。また、遠隔地方へのアクセスを可能にするため交通インフラの修復を行い、その際、地震の被害を受けた地域の人々に修復作業に参加してもらうことにより雇用を創出・収入源を確保し、災害後の飢えを防ぎ、生活再建を促すための支援も行いました。

ネパール



修復された道は地域の財産に。©WFP/Samir Jung Thapa

# 国連WFP協会の活動ダイジェスト

世界で国連WFPが取り組んだ支援活動と、それを支えた国連WFP協会の取り組みをご紹介します。



国連WFPが支援物資の保管庫として使用している倉庫を設置。救援物資の倉庫やボランティアセンターに。  
©WFP/Kazuhiko Yamazaki

## 熊本地震緊急支援

4月中旬に熊本県を中心に大地震が発生。国連WFPは、物流の専門家などからなる支援チーム6名の派遣と、避難所と救援物資とのマッチングや大型可動式倉庫5棟の設置などを行いました。

### 国連WFP協会の取り組み

#### 【寄付金送金】

・4,000万円を送金

年末にかけて戦闘が激化したアレッポ東部とその周辺に避難した約7万人へ食糧支援を実施。

©WFP/Hani Al Homsh



マラウイ南部のバラカ県を知花さんが訪問。干ばつと前年の洪水の影響で、キマメ畑は翌月に収穫を迎える予定が不作に。

©M. Kuroyanagi



シリア紛争のため、国内外で避難生活が続ける人々のストーリーを紹介する「I am Syrian」キャンペーンを展開。

©WFP

## シリア緊急支援

総人口の約50%が食糧支援を必要とし、3人に1人の子どもが学校に通えていない状況を受け、国連WFPは、シリア国内の510万人に対して支援を実施。また、48万5,000人に学校給食を提供しました。

### 国連WFP協会の取り組み

#### 【イベント・キャンペーン】

・認知拡大のため、避難民のストーリーを紹介する「I am Syrian」キャンペーンを展開

#### 【寄付金送金】

・6,500万円を送金

知花くらは国連WFP日本大使がマラウイを、そして、竹下景子国連WFP協会親善大使がスリランカを現地視察。6月、視察報告会を開催し、290人にご参加いただきました。

©Mayumi Rui



## エル・ニーニョ緊急支援

エル・ニーニョ現象の影響により、アフリカ南部では、前年の不作の原因となった干ばつが続き、1,800万人が支援を必要とする状況に陥りました。国連WFPは、干ばつの影響を受けた南部アフリカの国々で940万人に支援を実施。

### 国連WFP協会の取り組み

#### 【視察・報告会】

・知花くらはさんが視察報告会で、訪問したマラウイにおける干ばつの状況や対策を報告

#### 【寄付金送金】

・4,000万円を送金



### WFPウォーク・ザ・ワールド

11回目の開催となった横浜会場のほか、初めて大阪会場でもチャリティーウォーク「WFPウォーク・ザ・ワールド2016」を開催。参加費からの寄付金額は557万5,400円になりました。

©JAWFP



### WFP エッセイコンテスト

「WFPエッセイコンテスト2016」を開催。「ぼくの私のちからメシ」をテーマに書かれた1万4,659作品の応募があり、過去最高の175万9,080円が4社のご協力により寄付されました。

©JAWFP



今回のキャンペーンを通じて  
1年間学校に通うことのできる子どもたちの数

11,459人



10月16日の「世界食料デー」を挟んだ10月1日から3カ月間、「世界食料デーキャンペーン2016 わたしがつなぐ“赤いカップ”と子どもたちの未来」を展開。1万人の子どもたちに1年間学校給食を届けることを目標に掲げて実施し、前年の給食1万378人分を上回る1万1,459人分を達成しました。

©JAWFP

## 学校給食支援

地産地消の学校給食や、学校菜園、女子児童の教育推進など新たな試みが進む一方で、西・中部アフリカ数カ国において、支援国の財政縮小、優先事業等の転換、資金調達メカニズムの変化による資金難で130万人の給食停止・縮小の危機が発生。2016年、国連WFPは世界60カ国1,640万人に学校給食を提供しました。

### 国連WFP協会の取り組み

#### 【イベント・キャンペーン】

・WFPウォーク・ザ・ワールドを開催  
・WFPエッセイコンテストを開催  
・世界食料デーキャンペーンを展開

#### 【視察・報告会】

・竹下景子さんがスリランカを訪問、視察報告会で学校給食の成果を報告  
・三浦雄一郎さんがラオスを訪問、学校給食支援に関する広告を新聞に掲載

#### 【寄付金送金】

・約4億3,358万円を送金



10月、三浦雄一郎国連WFP協会親善大使がラオスを訪れ、学校給食支援を行う小学校などを視察。12月に学校給食に関する記事広告を朝日新聞に掲載しました。

# 現地で活躍する 国連WFPの日本人職員

世界各国で食糧を届け、また人々が食料を自らの力で手に入れられるよう日々奮闘している国連WFPの日本人職員に、国連WFPで働く醍醐味や挑戦などを伺いました。



## 人生が大きく変わっても変わらない軸

昨年7月より、セネガル地域事務所にて西アフリカ地域の防災力を高めるレジリエンス事業と、シエラレオネとリベリアの小規模農家支援を行う日本政府との二国間プロジェクトを担当しています。学生時代はバックパッカーとして世界を回り、旧ユーゴスラビアの難民キャンプやパプアニューギニアなどでのボランティア活動にも従事しましたが、情熱だけでなくビジョンやそれを達成する資金やネットワークの必要性を痛感し、国連WFPに入職しました。

以前は、スーダンやソマリアなど緊急支援の現場を渡り歩いていましたが、妊娠をきっかけに前任地イエメンを離れ、日本で出産。一年間の育休を取った後、セネガル地域事務所です仕事復帰し、事業管理を担っています。これまでのフィールド中心の人生から、仕事や家庭環境も大きく変化しましたが、人々の生活を良くする、という基本的な軸は変わりませんし、現場出張も欠かせません。また、家族と過ごす時間を確保するためにも、より短時間で仕事の成果を出せるよう努力するようにもなりました。



住民と事業の問題点を話し合う。

## 農業生産性の向上が生活を変える

先日フィールドを訪れた際に、小規模農家支援プロジェクトの参加者が、お米や野菜の収穫量が増え、「たくさん食べられるだけではなく、これで1年間子どもを学校に通わせることができます」と話してくれました。「食」が子どもたちの教育や将来、生活の向上にもつながっていることを実感できることは現場出張の一つの醍醐味です。現在の仕事は、農業の生産量を維持・向上させつつ、人々の自立につながる持続可能性の高い事業を立案、管理することが中心です。人々の声を事業に活かせるよう、また最終的に国連WFPがいなくなっても事業の成果が持続するように現地のNGO、JICA、他の国際機関と協力しながら活動していきたいと思えます。現地の人々は、これまでにいただいたご支援を通して日本をよく知り、また好意的な印象を抱いていますが、日本にいると支援先の国々のことを知る機会は少ないのが現状です。ぜひ皆様には引き続き支援先の国々にご関心をお寄せいただき、ご理解とご協力をいただければと思います。

## コミュニティに根差して12年

国連WFPの現場は大規模な人道支援が多いにも関わらず、コミュニティに根差した活動を多く行っている点こそ、私が国連WFPで働き続ける最大の理由です。そのため、入職して12年間、ソマリア、スリランカなど5カ国において、支援対象者と直に関わるフィールドオフィスばかり周ってきました。地元の人々と密にコミュニケーションを取りながら遂行する国連WFPの仕事に充実感と喜びを感じてきた私にとって、今回のネパールにおける支援事業全体の管理を行う仕事は、初めての管理職です。全く新しい仕事のやり方に戸惑い、フィールドが恋しくなることもあります。国の政策に働きかけるといって、今までにない面白さも感じています。2015年4月に発生したネパール大地震を受けて、緊急・復興支援のために日本の企業・団体、個人の皆様より2億円以上のご支援をいただきました。私は2016年10月に着任したのですが、ネパール事務所の職員一同、民間からとは思えない金額の大きさに驚き、また、民間ならではの迅速なご支援に非常に助けられた、と口を揃えて語っていました。

## 学校給食を持続可能な仕組みに

最近では、日本からのご支援をもとに、ネパール政府が独自に学校給食を運営していく、持続可能な仕組みを構築するパイロット事業を始動させました。国連WFPの学校給食支援から卒業した国の一つであるブラジルを、大学院生の頃、インターンとして訪れました。その時に学校給食支援を知り、基本的人権としての「食」と「教育」に関わるヒントを得られたことが、私の中で学校給食の普及に貢献したいという情熱につながり、現在まで続いています。皆様からは貴重なご寄付をいただき、誠にありがとうございます。また同時に、食料問題や国連WFPにご関心をお寄せいただけていることが、とても嬉しいです。支援現場はいつも試行錯誤の連続です。今後さらに支援活動を効率的・効果的にするためのヒントを、工夫や知恵の宝庫である日本の皆様にもご教示いただき、世界の「飢餓をゼロに」するプロセスにご参加いただけますと幸いです。



ネパールの山間部にある小学校を学校給食支援の視察のために訪問し、児童と触れ合うひと時。



前任地のフィリピンにて。(上) フィールドで支援対象者のリストを確認。(下) 母子栄養支援の対象者に栄養強化ペーストを配布している。

“学生の頃、学校給食が与える  
インパクトを目のあたりにしたことが、  
給食と教育の普及に  
貢献したいという情熱に、”



ネパール事務所  
支援事業責任者  
まえがわなおき  
前川直樹



セネガル地域事務所  
地域プログラムオフィサー/  
日本政府二国間プロジェクト・  
コーディネーター  
のぞみお  
野副美緒

“母親になり、  
「子どもに残したい世界」をどう作るか、  
を自然と考えるようになりました、”



子どもたちと歩いてプロジェクトの現場に向かう。

# 企業・団体の取り組み事例

2016年も、レッドカップキャンペーンやイベント開催、募金箱の設置などを通じて、企業・団体から5億2,866万円の寄付が寄せられました。企業・団体による国連WFPの支援事例をご紹介します。

## イベント開催

### チャリティーウォークの自主開催

WFPウォーク・ザ・ワールドを4カ所ですべて自主開催いただき、計543名が参加。飢餓問題の啓発を行うと共に、参加費の一部を学校給食支援へご寄付いただき、約18,000人分の給食になりました。

» 株式会社西武ライオンズ  
(開催地:埼玉県 西武プリンスドーム(現メットライフドーム)周辺)  
日清オイリオグループ株式会社(開催地:愛知県名古屋市)  
宗教法人無二亦寺(開催地:茨城県ひたちなか市 無二亦寺周辺) など



6月に西武プリンスドーム(現メットライフドーム)で開催。©JAWFP



著名選手のグッズやチームのサイン入りジャージを出品。©JRFU

### チャリティーオークションの開催

ヤフー株式会社が運営する「reU funding (リユーフunding) from ヤフオク!」にて、ジャパンラグビー トップリーグより提供されたグッズを出品。落札額の一部をご寄付いただきました。

» ジャパンラグビー トップリーグ(16チーム)、ヤフー株式会社

## 給与天引き・マッチングプログラム

国連WFPの活動に賛同する社員の皆様の給与から、定期的に一定額を差し引く形でご支援いただき、それと同額をマッチングという形で企業にご寄付いただきました。

» 株式会社オリエントランド、チューリッヒ保険会社、株式会社中村屋、三井化学株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社、森永乳業株式会社 など

## 備蓄食料の活用

賞味期限が残り半年となった災害用備蓄食料品のアルファ米を、社内食堂・売店で提供・販売。販売手数料を除いた売上げを寄付する取り組みを展開していただきました。

» 日本電気株式会社

## 募金活動

店頭における募金箱の設置、街頭募金活動などを通じて、国連WFPの活動をご紹介いただくと共に、支援の呼びかけにご協力いただきました。

» 宗教法人生長の家(一汁一飯の日募金)、一般社団法人日本フードサービス協会(ジェフ愛の募金)、株式会社ファミリーマート(ファミリーマート夢の掛け橋募金)、宗教法人立正佼成会佐倉教会(青年の日 国連WFP食糧支援募金) など

## その他の支援

- ◆ 株主優待制度を通じた支援
- ◆ ショッピング・ポイントやカタログからの支援
- ◆ 社員食堂でのチャリティーメニューの導入 など

# 寄付つき商品の販売

## レッドカップキャンペーン

### ◆ レッドカップキャンペーンとは

学校給食支援の輪を広げるため、給食を入れる容器として使っている赤いカップを目印に国連WFPが展開している「レッドカップキャンペーン」。様々な企業が参加し、売上げの一部を寄付する取り組みを実施しています。



### [ 食品関連 ]



(株) カンロ  
カンロ飴



キャンベルジャパン(株)  
キャンベル濃縮缶スープ



キュービー(株)  
キュービーベビーフード「ハッピーレシビ」シリーズ



(株) 湖池屋  
ポテトチップスのり塩たべきりサイズ5個パック



全国農協食品(株)  
国産果実、米、冷凍ピラフ・グラタンなど



(株) 中村屋  
技あり仕込みビーフカレー(中辛、濃厚リッチ)



日清食品(株)  
チキンラーメン



日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)  
スマイルセット



日本生活協同組合連合会  
CO・OPコープモデルなど



日本ハム(株)  
ウイニー



ハウス食品(株)  
「とんがりコーン」シリーズ



プリマハム(株)  
直火焼デミグラスハンバーグ



マルイ食品(株)  
「チキン南蛮」シリーズなど



(株) ロッテ  
ガーナリップル

### [ 食品以外 ]



(株) 河本総合防災  
蓄圧式粉末(ABC) 消火器



(株) グラム  
Q-pot. ランドセル



(株) ディノス・セシール  
『and moi(アンド モア)』



(株) ビバック  
クレーンなど



(株) ミスターマックス  
チャリティーTシャツ



(株) 明光ネットワーク  
ジャパン  
明光義塾オリジナル教材



(株) ユニーク  
パソコン用マウスなど



横浜市  
よこはま  
ウォーキングポイント事業

## その他の寄付つき商品



生活協同組合  
ユニー  
みるくぼきん



(株) 高島屋  
チャリティーサンタ



(株) ディノス・セシール  
「DAMA collection」  
カタログ



日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)  
チャリティーマク



日本ビザハット(株)  
チャリティー4 ピザ



ポッカサッポロフード  
& ビバレッジ(株)  
#fastingcharityキャンペーン

# 2016年度決算報告

## 活動計算書

2016年1月1日～2016年12月31日

科目	金額(単位:円)
<b>I 経常収益</b>	
1 受取会費	84,600,000
	評議会費 700,000
	賛助会費団体 310,000
	賛助会費一般 2,000
	賛助会費学生 85,612,000
2 事業収益	30,930,669
(1) 普及啓発事業	19,796
	送料負担 405,036
	謝金・講演料 57,205
	ハンガーマップ 1,504,120
	レッドカップ 28,944,512
(2) 協力事業	30,930,669
	協賛金 30,930,669
3 受取寄付金	1,099,813,603
4 その他収益	6,227,697
	一般 2,762
	受取利息 6,224,935
	受取配当金 6,227,697
	その他収益計
<b>経常収益計</b>	<b>1,222,583,969</b>

<b>II 経常費用</b>	
1 事業費	141,717,262
(1) 人件費	141,717,262
	給料手当 53,716,820
	法定福利費 8,752,190
	委託費 78,906,568
	福利厚生費 341,684
	人件費計 141,717,262
(2) その他経費	1,342,001
	会議費 8,039,632
	旅費交通費 37,239,232
	通信運搬費 2,449,513
	消耗品費 18,469,133
	印刷製本費 366,455
	賃借料 9,755,415
	支払手数料 108,250
	保険料 135,954,315
	宣伝広告費 34,057,784
	協力事業費 32,906
	租税公課 2,096,550
	保守料 144,301
	新聞図書費 404,980
	求人研修費 6,318
	雑費 834,701,896
	寄付金支出 1,085,168,681
	その他経費計
<b>事業費計</b>	<b>1,226,885,943</b>

2 管理費	18,098,506
(1) 人件費	18,098,506
	給料手当 14,272,192
	法定福利費 2,443,807
	委託費 1,317,600
	福利厚生費 64,907
	人件費計 18,098,506
(2) その他経費	492,234
	会議費 823,133
	旅費交通費 521,979
	通信運搬費 866,567
	消耗品費 881,873
	印刷製本費 125,533
	賃借料 1,015,803
	支払手数料 90,980
	保険料 2,822,694
	諸報酬料 2,416,950
	租税公課 894,564
	保守料 84,564
	新聞図書費 18,300
	求人研修費 2,870
	雑費 1,283,781
	什器備品減価償却費 77,984
	商標権減価償却費 2,268,797
	ソフトウェア減価償却費 14,688,606
	その他経費計
<b>管理費計</b>	<b>32,787,112</b>
<b>経常費用計</b>	<b>1,259,673,055</b>

当期経常増減額	△ 37,089,086
税引前当期正味財産増減額	△ 37,089,086
法人税、住民税および事業税	74,500
当期正味財産増減額	△ 37,163,586
前期繰越正味財産額	197,806,352
次期繰越正味財産額	160,642,766

## 貸借対照表

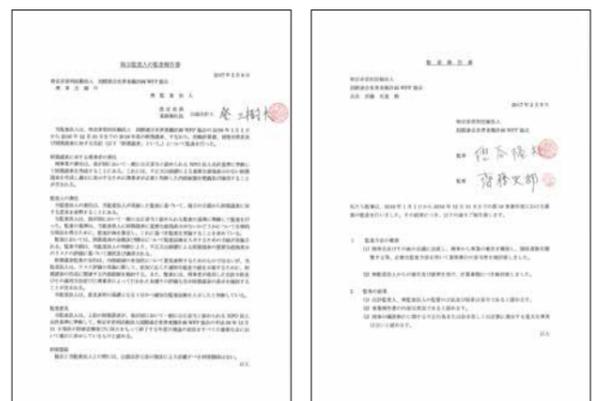
2016年12月31日現在

科目	金額(単位:円)
<b>I 資産の部</b>	
1 流動資産	380,920,376
	現金預金 197,622
	未収金 1,077,075
	商品 488,420
	前払金 382,683,493
	流動資産合計
2 固定資産	648,603
(1) 有形固定資産	648,603
	什器備品 648,603
	有形固定資産合計
(2) 無形固定資産	415,915
	商標権 8,404,951
	ソフトウェア 8,820,866
	無形固定資産合計
(3) 投資その他の資産	50,339,500
	投資有価証券 50,339,500
	投資その他の資産合計
<b>固定資産合計</b>	<b>59,808,969</b>
<b>資産合計</b>	<b>442,492,462</b>
<b>II 負債の部</b>	
1 流動負債	280,326,826
	未払金 74,500
	未払法人税等 327,670
	預り金 1,120,700
	未払消費税等 281,849,696
<b>流動負債合計</b>	<b>281,849,696</b>
<b>負債合計</b>	<b>281,849,696</b>
<b>III 正味財産の部</b>	
	前期繰越正味財産 197,806,352
	当期正味財産増減額 △ 37,163,586
<b>正味財産合計</b>	<b>160,642,766</b>
<b>負債および正味財産合計</b>	<b>442,492,462</b>

※決算時点での送金見込み金額。(2016年度に集まった寄付金の送金は2016年4月～2017年3月に実施)

## 情報公開と監査報告

国連WFP協会は、法人の監事が内部監査を行うとともに、監査法人に依頼して外部監査を受けています。事業報告書や財務諸表および財産目録は、所轄庁である横浜市に提出され、またウェブサイトにも掲載されています。  
<http://ja.wfp.org/jawfp/annual-reports/>



# 企業・団体からのご支援

2016年、国連WFP協会は評議員(419社・団体)をはじめ、多くの企業・団体の皆様からご寄付をいただきました。皆様からのご支援に心より御礼申し上げます。

## 国連WFPコーポレートプログラム

年間一定額のご寄付をいただき、継続的に国連WFPの活動にご協力いただくパートナーシップです。



## 100万円以上のご寄付をいただいた企業・団体の皆様

株式会社朝日ネット	宗教法人生長の家	PAPABUBBLE
アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.	株式会社セブン&アイ・フードシステムズ	HAL YAMASHITA
伊藤忠商事株式会社	全国農協食品株式会社	日立健康保険組合
伊藤忠食品株式会社	大東カカオ株式会社	株式会社ビバック
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	株式会社高島屋	株式会社ファイネット
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社	株式会社高島屋友の会	株式会社ファミリーマート
大阪マラソン組織委員会	株式会社ディノス・セシール	藤本電気工事株式会社
オーシャンポイント株式会社	特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International	プリマム株式会社
株式会社奥堀	凸版印刷株式会社	マネージメントサービス株式会社
株式会社オフィス・カラーサイエンス	株式会社中村屋	マルイ食品株式会社
株式会社カスミ	日清食品株式会社	株式会社ミスターマックス
株式会社カネカ	日清食品ホールディングス株式会社	三井住友カード株式会社
カンロ株式会社	株式会社日清製粉グループ本社	三菱商事株式会社
キッコーマン株式会社	株式会社日本アクセス	株式会社三菱東京UFJ銀行
キュービー株式会社	日本ハム株式会社	三菱東京UFJ銀行社会貢献基金
株式会社クレディセゾン	日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社	三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社
株式会社湖池屋	日本生活協同組合連合会	三菱UFJニコス株式会社
国連WFPサポーターズなごや	日本電気株式会社	宗教法人無二亦寺
コネクシオ株式会社	日本農産工業株式会社	株式会社明光ネットワークジャパン
シオノギ社会貢献支援会	日本ビザハット株式会社	森永乳業株式会社
ジャンボパーキング株式会社	一般社団法人日本フードサービス協会	有楽製菓株式会社
宗教法人松緑神道大和山	公益社団法人日本プロゴルフ協会	ユニー株式会社
昭和産業株式会社	公益財団法人日本ラグビーフットボール協会	株式会社ライフインテリジェンス
新晃工業株式会社	株式会社バスル	宗教法人立正佼成会
宗教法人真如苑	株式会社バナホーム兵庫	リンベル株式会社

## 役員一覧

2017年3月9日現在

会長	安藤 宏基	日清食品ホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO
理事	忍足 謙朗	WFP 国連世界食糧計画 元アジア地域局長
同	蟹江 雅彦	特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画WFP協会 元専務理事
同	鈴木 邦夫	特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画WFP協会 事務局長
同	本田 亮	クリエイティブディレクター/環境マンガ家
同	松江 勝美	公益財団法人横浜市国際交流協会 元常務理事
同	三代 裕子	総務省 行政相談委員
同	御立 尚資	株式会社ボストン コンサルティング グループ シニア・パートナー & マネージング・ディレクター
監事	櫻谷 隆夫	公認会計士・税理士
同	齋藤 史郎	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 顧問